

令和7年度入学者向け 京都工芸繊維大学 入学者選抜要項

Kyoto Institute of Technology, 2025

工芸科学部

応用生物学域 —— 応用生物学課程

物質・材料科学域 —— 応用化学課程

設計工学域 —— 電子システム工学課程
情報工学課程
機械工学課程

デザイン科学域 —— デザイン・建築学課程



京都工芸繊維大学
KYOTO INSTITUTE OF TECHNOLOGY

目 次

●令和7年度入学者向け入試（令和6年度実施）の主な変更点	1
Ⅰ. 入学者選抜方法	2
Ⅱ. 入学者選抜日程	4
Ⅲ. インターネット出願について	6
Ⅳ. アドミッションポリシー	7
Ⅴ. 募集人員	17
Ⅵ. 地域創生 Tech Program について	18
Ⅶ. 出願資格	19
Ⅷ. 障害等のある人との事前相談について	22
Ⅸ. 入学者選抜の実施教科・科目等について	23
◎ 試験場（京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス）への案内	

●令和7年度入学者向け入試（令和6年度実施）の主な変更点

各選抜の変更点は、以下のとおりです。

<変更点がある選抜>

選抜区分：一般選抜

変更内容：①全課程において、後期日程での募集を停止します。これに伴い一部の課程で前期日程の募集人員を変更しています。詳細については、17ページのV. 募集人員を参照してください。

②全課程において、大学入学共通テストで「情報」を課します。「情報」の配点については23ページ以降を参照してください。

選抜区分：ダビンチ入試（総合型選抜）

変更内容：①一部の課程で一般プログラムの募集人員を変更しています。詳細については17ページのV. 募集人員を参照してください。

選抜区分：学校推薦型選抜

変更内容：①一部の課程で一般プログラムの募集人員を変更しています。詳細については17ページのV. 募集人員を参照してください。

②全課程において、大学入学共通テストで「情報」を課します。「情報」の配点については23ページ以降を参照してください。

令和7年度 京都工芸繊維大学 入学者選抜要項

I. 入学者選抜方法

京都工芸繊維大学工芸科学部の令和7年4月に1年次生として入学する者の選抜は、次の1、2、3及び4により行います。なお、専門学科・総合学科卒業生選抜、帰国生徒選抜は実施していません。

なお、各選抜の詳細については、必ず、学生募集要項をご確認ください。

学部入試最新情報：https://ac.web.kit.ac.jp/02/school_news.php

1. 一般選抜

一般選抜の「IV. アドミッションポリシー」(7、8ページ参照)に基づき、大学入学共通テスト及び本学が行う個別学力検査等の成績、調査書の内容により、出願者の能力・適性等を総合して判定します。

- (1) 出願期間及び個別学力検査等の実施日程

「II. 入学者選抜日程」(4ページ参照)に示すとおりです。

- (2) 大学入学共通テスト及び個別学力検査等における実施教科・科目別配点

「IX. 入学者選抜の実施教科・科目等について」(23ページ以降参照)に示すとおりです。

- (3) 2段階選抜

2段階選抜は行いません。

- (4) 学内併願

・前期日程においては、地域創生Tech Program 志願者は、同一課程に限り、第2志望に一般プログラムを選択することが可能です。地域創生Tech Program については18ページを参照してください。

2. 総合型選抜

総合型選抜の「IV. アドミッションポリシー」(9、10ページ参照)に基づき、大学入学共通テスト及び個別学力検査を課さず、個人の資質・能力を総合評価して判定します。本学では、ダビンチ入試と呼んでいます。

- (1) 出願期間及び選考実施日程

「II. 入学者選抜日程」(5ページ参照)に示すとおりです。

- (2) 選抜方法

「IX. 入学者選抜の実施教科・科目等について」(23ページ以降参照)に示すとおりです。

第1次選考及び最終選考で行う試験実施内容については、「令和7年度ダビンチ入試(総合型選抜)学生募集要項」にてご確認ください。

- (3) 出願要件

最終選考に合格した場合、本学への入学を確約できる人を対象とします。全体の学習成績の状況(旧評定平均値)による出願資格の制限はありません。

※ダビンチ入試で不合格となった人は、本学を含む国公立大学・学部の学校推薦型選抜及び一般選抜に出願ができます。

3. 学校推薦型選抜<一般プログラム>/<地域創生 Tech Program>

学校推薦型選抜<一般プログラム>/<地域創生 Tech Program>の「IV. アドミッションポリシー」(11~14ページ参照)に基づき、大学入学共通テストと提出された出願書類の内容等を総合し、<一般プログラム>/<地域創生 Tech Program>で学ぶ学生を選抜します。

(1) 出願期間

「II. 入学者選抜日程」(4ページ参照)に示すとおりです。

(2) 選抜方法

「IX. 入学者選抜の実施教科・科目等について」(23ページ以降参照)に示すとおりです。

(3) 出願資格等

「VII. 出願資格」(21ページ参照)に示すとおりです。また、下記①から⑨の出願にあたっての注意事項があります。

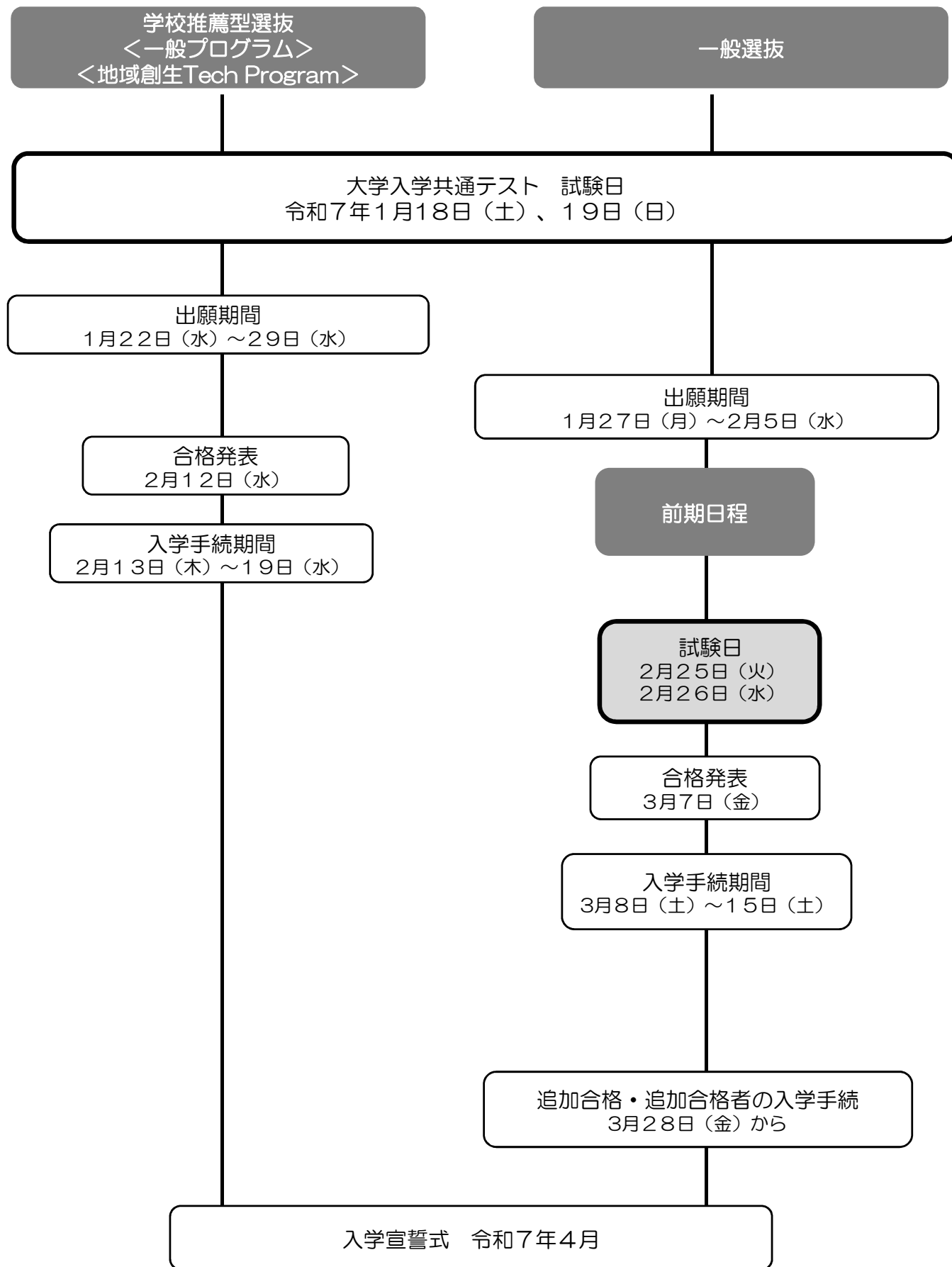
- ① <一般プログラム>は、全国からの出願が可能です。また、既卒者も出願可能です。
<地域創生 Tech Program>は、出願時に、京都府下に所在地を置く高等学校若しくは中等教育学校(以下、「高校等」という)を令和7年3月31日までに卒業見込みの人、又は京都府内に在住し令和7年3月31日までに高校等を卒業見込みの人に限られます。
- ② 国公立大学の学校推薦型選抜(大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含めて)へ出願できるのは、1つの大学・学部(学科・課程・専攻・コース等)のみです。
- ③ <一般プログラム>と<地域創生 Tech Program>を併願することはできません。
- ④ 学校推薦型選抜で合格となった人は、本学を含む国公立大学・学部の一般選抜を出願し、受験しても合格者となることはありません。
- ⑤ 学校推薦型選抜で不合格となった人は、本学を含む国公立大学・学部の一般選抜を受験することができます。ただし、合格者発表が国公立大学の一般選抜出願期間後となるため、あらかじめ出願手続きを完了しておく必要があります。
- ⑥ 本学のダビンチ入試(総合型選抜)を受験し、不合格となった人であっても、本学の学校推薦型選抜へ出願ができます。
- ⑦ 大学入学共通テストにおいて、本学が指定した教科・科目を受験していないことが判明した場合、合格者となることはありません。
- ⑧ 1つの高等学校から推薦できる人数に制限はありません。
- ⑨ 課程ごとの注意事項
 - ・ 応用化学課程、デザイン・建築学課程
数学Ⅲを履修していることが望ましい。
 - ・ 電子システム工学課程、情報工学課程、機械工学課程
数学Ⅲを履修していること。

4. 特別入試(私費外国人留学生入試)

日本の大学で教育を受ける目的をもって入国し、私費により本学に入学を希望する外国人を対象として、日本留学試験、TOEFL及び本学が行う小論文・面接によって、入学者を選抜します。実施日程等の詳細は、すでに公表している私費外国人留学生入試学生募集要項で確認してください。

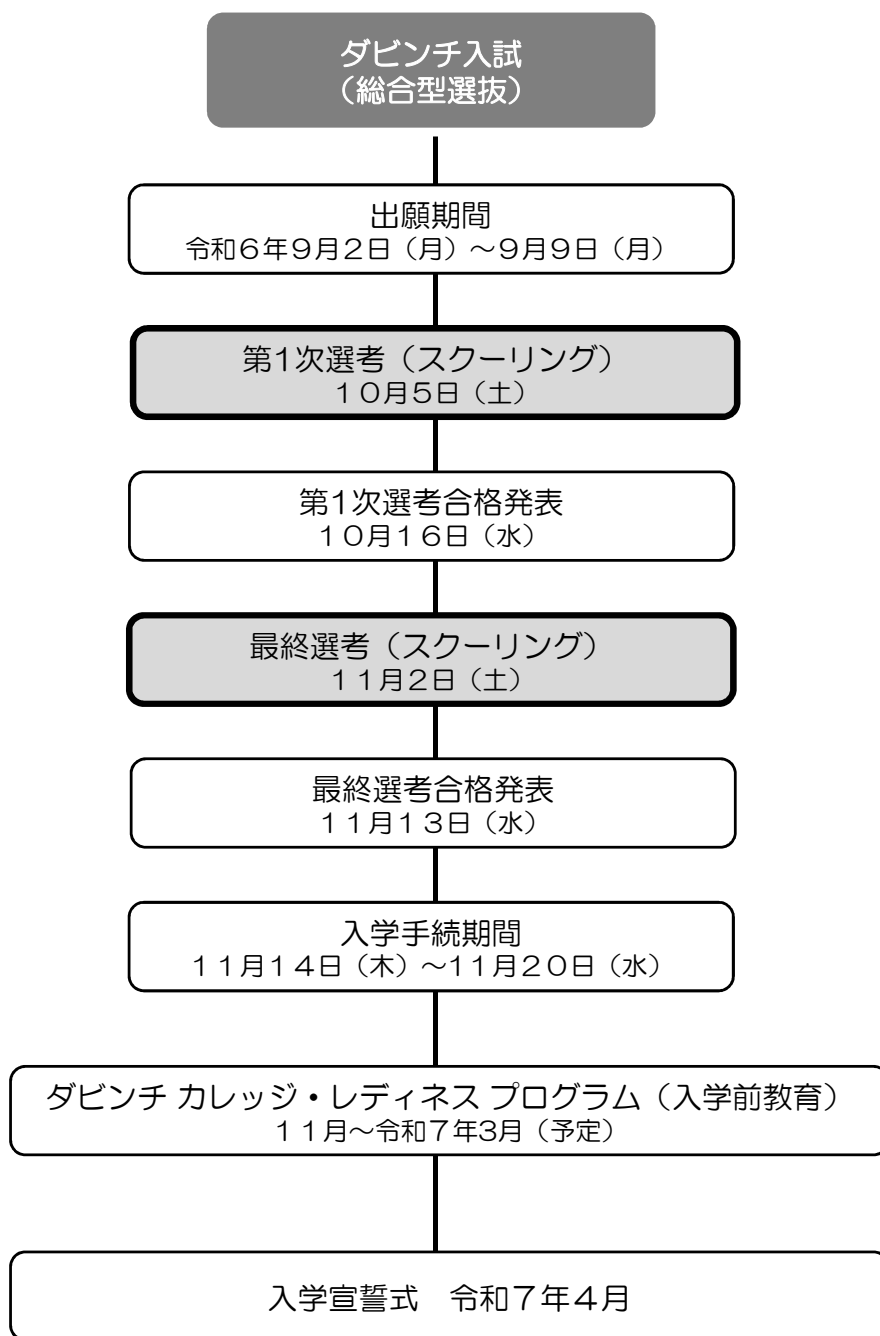
II. 入学者選抜日程

①大学入学共通テストを課す入試



※ 出願にあたっては、必ず詳細を募集要項、ホームページで最新の情報を確認してください。
URL: https://ac.web.kit.ac.jp/02/school_news.php

②大学入学共通テストを課さない入試



※ 本学では、これらの入学者選抜のほか、私費外国人留学生入試及び3年次編入学試験を実施します。詳細は、それぞれの募集要項をご確認ください。

Ⅲ. インターネット出願について

京都工芸繊維大学では、出願手続きの簡素化をはかるため、インターネット出願を導入しています。

インターネット出願に係る手続きの流れは、以下の通りです。なお、本学では、インターネット出願に登録しただけでは受け付けません。必ず出願書類を郵便等により、本学に提出してください。出願書類については、各入試の学生募集要項をご確認ください。

また、学生募集要項の冊子及び紙媒体の入学願書はありません。

① ホームページのインターネット出願のページへアクセス

<https://www.postanet.jp/info/010050/>



このバナーが目印です

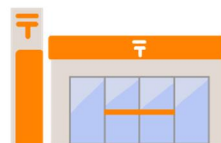
② 志望課程、プログラム等の選択、志願者情報（氏名・住所等）の入力、顔写真のアップロード

③ 受験料（検定料）の支払い (コンビニエンスストアでの支払い、クレジットカード決済、銀行ATM(ペイジー)が利用可能です)

④ 入学願書のダウンロード、印刷



⑤ 入学願書、調査書等 願書類を大学へ郵送



IV. アドミッションポリシー

1. 一般選抜

学域	課程	人材育成の目標	選抜の方針・ポリシー	求める能力・適性
応用生物学域	応用生物学課程	バイオテクノロジーに関する高度な知識、技術、展開能力を有し、諸課題を解決し社会に還元することで、安全で幸福な持続的社会的実現に貢献するグローバルな技術者・研究者を育成します。	大学入学共通テストにより幅広い基礎学力を測るとともに、個別学力検査では、課程の専門教育の基礎となる教科・科目の学力を測り、大学入学共通テスト、個別学力検査と調査書等を総合し、求める能力・適性を判定します。	総合的学習能力、柔軟な発想、論理的な思考能力 ・自然科学を学ぶための生物、化学、数学、英語などの基礎学力 ・生命と自然に対する深い興味、探究心と観察力
物質・材料科学域	応用化学課程	物質・材料の成り立ちから応用までを俯瞰でき、基礎から応用までの幅広い知識(総合力)と高い専門性の素養を身につけた、次世代の物質や材料の開発と探求ができる人材を育成します。	大学入学共通テストにより幅広い基礎学力を測るとともに、個別学力検査では、課程の専門教育の基礎となる教科・科目の学力を測り、大学入学共通テスト、個別学力検査と調査書等を総合し、求める能力・適性を判定します。	・創造的、論理的思考能力、柔軟で独創的な発想、チャレンジ精神と行動力 ・自然科学を学ぶための化学、物理、数学、英語などの基礎学力とその応用・発展能力 ・実験科学に対する深い興味と人文科学、社会科学への幅広い関心 ・課題に向かって情熱的に取り組む意欲、化学に対する旺盛な好奇心 ・物質や材料、生体関連物質に対する好奇心、学習意欲
設計工学域	電子システム工学課程	電子、通信、電気、計測、制御工学分野に関する知識と技術について、理論と実践の両面からバランスよく修得し、社会を支える幅広い産業分野で活躍する人材の育成を目指します。	大学入学共通テストにより幅広い基礎学力を測るとともに、個別学力検査では、課程の専門教育の基礎となる教科・科目の学力を測り、大学入学共通テスト、個別学力検査と調査書等を総合し、求める能力・適性を判定します。	数学、物理や英語などの基礎学力 ・論理的思考力、ならびに修学に必要な基礎知識 ・自然現象に対する好奇心と洞察力 ・チャレンジ精神と行動力
	情報工学課程	製造・サービスなどのさまざまな産業の根幹を支えるICT分野でリーダーシップをとって活躍する人材、および、ICTを活用した先進的なシステムの開発やサービスの創出・提供によって持続可能かつ豊かな情報社会の構築に貢献する人材を育成します。	大学入学共通テストにより幅広い基礎学力を測るとともに、個別学力検査では、課程の専門教育の基礎となる教科・科目の学力を測り、大学入学共通テスト、個別学力検査と調査書等を総合し、求める能力・適性を判定します。	数学、物理や英語などの基礎学力 ・論理的な思考力や表現力 ・好奇心、チャレンジ精神と行動力
	機械工学課程	単に機械工学に係る個々の専門知識を習得するだけでなく、それらを統合させる能力や、科学技術の発展の方向や時代と社会の変化の動向を把握し、まだ想像されていない新しい製品やシステムを思い描き、それを具現化する行動力、さらには、自身の国籍に拘ることなく、多様性の受容と柔軟なコミュニケーションを通じた世界変化への洞察力を身につけた機械工学に係る新価値を創造する高度専門技術者や研究者を体系化された教育プログラムを通じて育成することを目指します。	大学入学共通テストにより幅広い基礎学力を測るとともに、個別学力検査では、課程の専門教育の基礎となる教科・科目の学力を測り、大学入学共通テスト、個別学力検査と調査書等を総合し、求める能力・適性を判定します。	数学、物理や英語などの基礎学力 ・ものづくりが好きで、創意工夫して忍耐強く問題に取り組む力 ・自然に対する興味や好奇心、注意深い観察力 ・論理的思考力、創造力、チャレンジ精神と行動力

(次のページに続く)

学域	課程	人材育成の目標	選抜の方針・ポリシー	求める能力・適性
デザイン科学域	デザイン・建築学課程	歴史と先端、地域性と国際性、芸術と科学が同居する京都という地において、デザイン学と建築学を広い概念としての「デザイン」として一つの視野の下にとらえ、自然・都市・建築環境、ものづくり、社会・経済構造、人間・社会関係といった多様な社会問題に対し、デザインによる解決ができる人材の育成を目指します。	大学入学共通テストにより幅広い基礎学力を測るとともに、個別学力検査では課程の専門教育の基礎となる教科・科目の学力や総合的な学力を測り、大学入学共通テスト、個別学力検査等と調査書等を総合し、求める能力・適性を判定します。	<ul style="list-style-type: none"> ・緻密な論理的思考力と社会に対する洞察力、それを支えるバランスのとれた学力 ・美や造形に対する関心と感受性 ・人間や社会およびビジネスに対する関心と理解力 ・コミュニケーション能力と協調性 ・新しい可能性に向けての創造力と表現への熱意

地域創生Tech Program では、7ページからの各課程のアドミッションポリシー（一般プログラム）に加えて、独自のアドミッションポリシーがあります。その内容は以下のとおりです。

募集区分等	人材育成の目標	選抜の方針・ポリシー	求める能力・適性
地域創生Tech Program 【一般】	各課程の専門知識および技術をベースに、地域産業の活性化や地域課題の解決に向けて、グローバルな視野で新産業を興すアントレプレナー精神、特許等の知的財産に関する知識、チームで協働して課題解決に取り組めるリーダーシップ精神を有する人材の育成を目指します。	大学入学共通テストにより幅広い基礎学力を測るとともに、個別学力検査では課程の専門教育の基礎となる教科・科目の学力や総合的な学力を測り、大学入学共通テスト、個別学力検査等と調査書等を総合し、求める能力・適性を判定します。	各課程の「求める能力・適性」に加え、各課程の専門を通して地域創生に貢献するための科学技術、人間・社会・文化に対する広範な関心

2. ダビンチ入試(総合型選抜)

学域	課程	人材育成の目標	選抜の方針・ポリシー	求める能力・適性
応用生物学域	応用生物学課程	バイオテクノロジーに関する高度な知識、技術、展開能力を有し、諸課題を解決し社会に還元することで、安全で幸福な持続的社会的の実現に貢献するグローバルな技術者・研究者を育成します。	第1次選考では、出願書類により、適性、追究力、持続力、知的好奇心、学習意欲、協調性、社会性、積極性、独創性を評価するとともに、講義・レポート作成により基礎知識、数理能力、理解力、問題解決能力、論理的思考能力、文章表現能力を、課題提示・レポート作成により目的意識、学習意欲、読解力、語学力、論理的思考能力、文章表現能力、独創性、適性を評価します。 最終選考では、面接試験により、説明能力、理解力、論理的思考能力、理数系の基礎学力などを評価し、総合的に求める能力・適性を判定します。	<ul style="list-style-type: none"> 生命と自然に対する敬愛 総合的学習能力、柔軟な発想、論理的な思考能力 自然界のさまざまな事柄について、生物学だけでなく多面的、論理的に思考できる、積極的かつ創造的な人
物質・材料科学域	応用化学課程	物質・材料の成り立ちから応用までを俯瞰でき、基礎から応用までの幅広い知識(総合力)と高い専門性の素養を身に着けた、次世代の物質や材料の開発と探求ができる人材を育成します。	第1次選考では、出願書類により、適性、追究力、持続力、知的好奇心、学習意欲、協調性、社会性、積極性、独創性を評価するとともに、講義・レポート作成により基礎知識、数理能力、理解力、問題解決能力、論理的思考能力、文章表現能力を、課題提示・レポート作成により目的意識、学習意欲、読解力、語学力、論理的思考能力、文章表現能力、独創性、適性を評価します。 最終選考では、面接試験により、基礎学力、目的意識、自主性、適性などを評価し、総合的に求める能力・適性を判定します。	<ul style="list-style-type: none"> 創造的、論理的思考能力、柔軟で独創的な発想、チャレンジ精神と行動力 自然科学を学ぶための基礎学力 化学に対する旺盛な好奇心 物質や材料さらには生体関連物質に対する好奇心・学習意欲 化学だけの一面的な視野にとらわれず、広い視野とソフトで多様な思考を持ち、課題に向かって情熱的に取り組む意欲
設計工学域	電子システム工学課程	電子、通信、電気、計測、制御工学分野に関する知識と技術について、理論と実践の両面からバランスよく修得し、社会を支える幅広い産業分野で活躍する人材の育成を目指します。	第1次選考では、出願書類により、適性、追究力、持続力、知的好奇心、学習意欲、協調性、社会性、積極性、独創性を評価するとともに、講義・レポート作成により基礎知識、数理能力、理解力、問題解決能力、論理的思考能力、文章表現能力を、課題提示・レポート作成により目的意識、学習意欲、読解力、語学力、論理的思考能力、文章表現能力、独創性、適性を評価します。 最終選考では、面接・口頭試問により、説明能力、理解力、論理的思考能力、発想の斬新性、理数系の基礎学力などを評価し、総合的に求める能力・適性を判定します。	<ul style="list-style-type: none"> 数学、物理の基礎学力 論理的思考力、ならびに修学に必要な基礎知識 自然現象に対する好奇心と洞察力 チャレンジ精神と行動力
	情報工学課程	製造・サービスなどのさまざまな産業の根幹を支えるICT分野でリーダーシップをとって活躍する人材、および、ICTを活用した先進的なシステムの開発やサービスの創出・提供によって持続可能かつ豊かな情報社会の構築に貢献する人材を育成します。	第1次選考では、出願書類により、適性、追究力、持続力、知的好奇心、学習意欲、協調性、社会性、積極性、独創性を評価するとともに、講義・レポート作成により基礎知識、数理能力、理解力、問題解決能力、論理的思考能力、文章表現能力を、課題提示・レポート作成により目的意識、学習意欲、読解力、語学力、論理的思考能力、文章表現能力、独創性、適性を評価します。 最終選考では、情報工学に関連する内容の講義に対するレポート作成により、基礎学力や論理的思考力、表現力を評価するとともに、課題提示・グループディスカッションにより、提示された課題の中から問題点と解決策を見いだす能力、集団の中で他人の意見を理解し、協調して意見をまとめ上げる能力を評価し、総合的に求める能力・適性を判定します。	<ul style="list-style-type: none"> 論理的な思考力や表現力、数学の基礎学力 好奇心、チャレンジ精神と行動力 人や社会への関心、および将来ICT分野でリーダーシップをとって活躍しようとする意欲

(次のページに続く)

学域	課程	人材育成の目標	選抜の方針・ポリシー	求める能力・適性
設計工学域	機械工学課程	単に機械工学に係る個々の専門知識を習得するだけでなく、それらを統合させる能力や、科学技術の発展の方向や時代と社会の変化の動向を把握し、まだ想像されていない新しい製品やシステムを思い描き、それを具現化する行動力、さらには、自身の国籍に拘ることなく、多様性の受容と柔軟なコミュニケーションを通じた世界変化への洞察力を身に着けた機械工学に係る新価値を創造する高度専門技術者や研究者を体系化された教育プログラムを通じて育成することを目指します。	第1次選考では、出願書類により、適性、追究力、持続力、知的好奇心、学習意欲、協調性、独創性、社会性、積極性を評価するとともに、講義・レポート作成により基礎知識、数理能力、理解力、問題解決能力、論理的思考能力、文章表現能力を、課題提示・レポート作成により目的意識、学習意欲、読解力、語学力、論理的思考能力、文章表現能力、独創性、適性を評価します。 最終選考では、機械工学に関連する課題を提示し、自らの力で観て、考えて、創造し、それを表現する力の素養と、論理的思考能力、創造力、チャレンジ精神、数学、物理、英語等の基礎学力をプレゼンテーションにより評価し、総合的に求める能力・適性を判定します。	論理的思考力、創造力、チャレンジ精神と行動力、基礎学力 ものづくりが好きで、創意工夫して忍耐強く問題に取り組む力 ・自然に対する興味や好奇心、注意深い観察力
デザイン科学域	デザイン・建築学課程	歴史と先端、地域性と国際性、芸術と科学が同居する京都という地において、「デザイン」として一つの視野の下にとらえ、自然・都市・建築環境、ものづくり、社会・経済構造、人間・社会関係といった多様な社会問題に対し、デザインによる解決ができる人材の育成を目指します。	第1次選考では、出願書類により、適性、追究力、持続力、知的好奇心、学習意欲、協調性、社会性、積極性、独創性を評価するとともに、講義・レポート作成により基礎知識、理解力、問題解決能力、論理的思考能力、文章表現能力を、課題提示・レポート作成により目的意識、学習意欲、読解力、語学力、論理的思考能力、文章表現能力、独創性、適性を評価します。 最終選考では、プレゼンテーション試験により自己の目的意識、創造力、独創性等を評価するとともに、課題提示・グループディスカッションにより、問題分析力、プレゼンテーション能力、独創性、意欲、リーダーシップ、協調性を評価し、総合的に求める能力・適性を判定します。	緻密な論理的思考力と社会に対する洞察力、それを支えるバランスのとれた学力 美や造形に対する関心と感受性 ・人間や社会およびビジネスに対する関心と理解力 ・コミュニケーション能力と協調性 ・新しい可能性に向けての創造力と表現への熱意

一般プログラム【グローバル】及び地域創生Tech Program では、上記の各課程のアドミッションポリシー(一般プログラム【一般】)に加えて、独自のアドミッションポリシーがあります。その内容は以下のとおりです。

募集区分等	人材育成の目標	選抜の方針・ポリシー	求める能力・適性
一般プログラム【グローバル】	各課程の「人材育成の目標」と同じ。	第1次選考では、出願書類により、適性、追究力、持続力、知的好奇心、学習意欲、協調性、社会性、積極性、独創性を、志望する学域の講義・レポート作成により基礎知識、論理的思考力等を評価するとともに、英語スピーキング・ライティング試験により、英語での情報収集力、批判的思考力、自身の考えや意見を英語で効果的に発信する力を評価します。 最終選考では、各課程における講義・レポート作成、面接試験、プレゼンテーション等により論理的思考力や表現力を評価し、総合的に求める能力・適性を判定します。	各課程の「求める能力・適性」に加えて、各課程の専門を通して産業等のグローバル展開に貢献する意欲 ・科学技術、人間・社会・文化に対する広範な関心と、客観的な判断力、論理的説明力 ・英語によるコミュニケーション能力
地域創生Tech Program【一般】【地域】【社会人】	各課程の専門知識および技術をベースに、地域産業の活性化や地域課題の解決に向けて、グローバルな視野で新産業を興すアントレプレナー精神、特許等の知的財産に関する知識、チームで協働して課題解決に取り組めるリーダーシップ精神を有する人材の育成を目指します。	第1次選考では、出願書類により、適性、追究力、持続力、知的好奇心、学習意欲、協調性、社会性、積極性、独創性を、志望する学域の講義・レポート作成により基礎知識、論理的思考力等を評価するとともに、地域課題レポート試験により地域社会等の課題に対する理解力、分析力、提案力を評価します。 最終選考では、各課程における講義・レポート作成、面接試験、プレゼンテーション等により論理的思考力や表現力を評価し、総合的に求める能力・適性を判定します。	各課程の「求める能力・適性」に加え、各課程の専門を通して地域創生に貢献するための科学技術、人間・社会・文化に対する広範な関心

3-1. 学校推薦型選抜〈一般プログラム〉

学域	課程	人材育成の目標	選抜の方針・ポリシー	求める能力・適性
応用生物学域	応用生物学課程	バイオテクノロジーに関する高度な知識、技術、展開能力を有し、諸課題を解決し社会に還元することで、安全で幸福な持続的社会的の実現に貢献するグローバルな技術者・研究者を育成します。	出身学校における学業成績及び出身学校による推薦によって人物及び学力の優れた者に出願資格を与え、出願書類と大学入学共通テストにより幅広い基礎学力を測り、求める能力・適性を判定します。	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な学習能力、柔軟な発想、論理的な思考能力 生物、化学、英語などの基礎学力 生命と自然に対する深い興味、探究心と観察力
物質・材料科学域	応用化学課程	物質・材料の成り立ちから応用までを俯瞰でき、基礎から応用までの幅広い知識(総合力)と高い専門性の素養を身に着けた、次世代の物質や材料の開発と探求ができる人材を育成します。	出身学校における学業成績及び出身学校による推薦によって人物及び学力の優れた者に出願資格を与え、出願書類と大学入学共通テストにより幅広い基礎学力を測り、求める能力・適性を判定します。	<ul style="list-style-type: none"> 創造的、論理的思考能力、柔軟で独創的な発想、チャレンジ精神と行動力 自然科学を学ぶための化学、物理、数学、英語などの基礎学力とその応用・発展能力 実験科学に対する深い興味と人文科学、社会科学への幅広い関心 課題に向かって情熱的に取り組む意欲、化学に対する旺盛な好奇心 物質や材料、生体関連物質に対する好奇心、学習意欲
設計工学域	電子システム工学課程	電子、通信、電気、計測、制御工学分野に関する知識と技術について、理論と実践の両面からバランスよく修得し、社会を支える幅広い産業分野で活躍する人材の育成を目指します。	出身学校における学業成績及び出身学校による推薦によって人物及び学力の優れた者に出願資格を与え、出願書類と大学入学共通テストにより幅広い基礎学力を測り、求める能力・適性を判定します。	<ul style="list-style-type: none"> 数学、物理や英語などの基礎学力 論理的思考力、ならびに修学に必要な基礎知識 自然現象に対する好奇心と洞察力 チャレンジ精神と行動力
	情報工学課程	製造・サービスなどのさまざまな産業の根幹を支えるICT分野でリーダーシップをとって活躍する人材、および、ICTを活用した先進的なシステムの開発やサービスの創出・提供によって持続可能かつ豊かな情報社会の構築に貢献する人材を育成します。	出身学校における学業成績及び出身学校による推薦によって人物及び学力の優れた者に出願資格を与え、出願書類と大学入学共通テストにより幅広い基礎学力を測り、求める能力・適性を判定します。	<ul style="list-style-type: none"> 数学、物理や英語などの基礎学力 論理的な思考力や表現力 好奇心、チャレンジ精神と行動力
	機械工学課程	単に機械工学に係る個々の専門知識を習得するだけでなく、それらを統合させる能力や、科学技術の発展の方向や時代と社会の変化の動向を把握し、まだ想像されていない新しい製品やシステムを思い描き、それを具現化する行動力、さらには、自身の国籍に拘ることなく、多様性の受容と柔軟なコミュニケーションを通じた世界変化への洞察力を身に着けた機械工学に係る新価値を創造する高度専門技術者や研究者を体系化された教育プログラムを通じて育成することを目指します。	出身学校における学業成績及び出身学校による推薦によって人物及び学力の優れた者に出願資格を与え、出願書類と大学入学共通テストにより幅広い基礎学力を測り、求める能力・適性を判定します。	<ul style="list-style-type: none"> 数学、物理や英語などの基礎学力 ものづくりが好きで、創意工夫して忍耐強く問題に取り組む力 自然に対する興味や好奇心、注意深い観察力 論理的思考力、創造力、チャレンジ精神と行動力

(次のページに続く)

学域	課程	人材育成の目標	選抜の方針・ポリシー	求める能力・適性
デザイン科学域	デザイン・建築学課程	<p>歴史と先端、地域性と国際性、芸術と科学が同居する京都という地において、デザイン学と建築学を広い概念としての「デザイン」として一つの視野の下にとらえ、自然・都市・建築環境、ものづくり、社会・経済構造、人間・社会関係といった多様な社会問題に対し、デザインによる解決ができる人材の育成を目指します。</p>	<p>出身学校における学業成績及び出身学校による推薦によって人物及び学力の優れた者に出願資格を与え、出願書類と大学入学共通テストにより幅広い基礎学力を測り、求める能力・適性を判定します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・緻密な論理的思考力と社会に対する洞察力、それを支えるバランスのとれた学力 ・美や造形に対する関心と感受性 ・人間や社会およびビジネスに対する関心と理解力 ・コミュニケーション能力と協調性 ・新しい可能性に向けての創造力と表現への熱意

3-2. 学校推薦型選抜〈地域創生Tech Program〉

募集区分等	人材育成の目標	選抜の方針・ポリシー	求める能力・適性
地域創生Tech Program	各課程の専門知識および技術をベースに、地域産業の活性化や地域課題の解決に向けて、グローバルな視野で新産業を興すアントレプレナー精神、特許等の知的財産に関する知識、チームで協働して課題解決に取り組めるリーダーシップ精神を有する人材の育成を目指します。	出身学校における学業成績及び出身学校による推薦によって人物及び学力の優れた者に出願資格を与え、大学入学共通テストにより幅広い基礎学力を測るとともに、出願書類に基づき、本プログラムおよび下記の各課程の求める能力・適性を判定します。	<ul style="list-style-type: none"> 各課程の専門を通して地域創生に貢献する意欲 科学技術、人間・社会・文化に対する広範な関心と、客観的な判断力、論理的説明力 生命と自然、人と文化への敬愛心、創造的・論理的な思考力、地域社会課題に対する洞察力 科学技術を学ぶための基礎学力、チャレンジ精神と行動力

上記地域創生Tech Program のアドミッションポリシーと下記の各課程のアドミッションポリシーに基づいて、入学者選抜を行います。

学域	課程	人材育成の目標	選抜の方針・ポリシー	求める能力・適性
応用生物学域	応用生物学課程	バイオテクノロジーに関する高度な知識、技術、展開能力を有し、諸課題を解決し社会に還元することで、安全で幸福な持続的社会的の実現に貢献するグローバルな技術者・研究者を育成します。	出身学校における学業成績及び出身学校による推薦によって人物及び学力の優れた者に出願資格を与え、出願書類と大学入学共通テストにより幅広い基礎学力を測り、求める能力・適性を判定します。	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な学習能力、柔軟な発想、論理的な思考能力 生物、化学、英語などの基礎学力 生命と自然に対する深い興味、探究心と観察力
物質・材料科学域	応用化学課程	物質・材料の成り立ちから応用までを俯瞰でき、基礎から応用までの幅広い知識(総合力)と高い専門性の素養を身に着けた、次世代の物質や材料の開発と探求ができる人材を育成します。	出身学校における学業成績及び出身学校による推薦によって人物及び学力の優れた者に出願資格を与え、出願書類と大学入学共通テストにより幅広い基礎学力を測り、求める能力・適性を判定します。	<ul style="list-style-type: none"> 創造的、論理的思考能力、柔軟で独創的な発想、チャレンジ精神と行動力 自然科学を学ぶための化学、物理、数学、英語などの基礎学力とその応用・発展能力 実験科学に対する深い興味と人文科学、社会科学への幅広い関心 課題に向かって情熱的に取り組む意欲、化学に対する旺盛な好奇心 物質や材料、生体関連物質に対する好奇心、学習意欲
設計工学域	電子システム工学課程	電子、通信、電気、計測、制御工学分野に関する知識と技術について、理論と実践の両面からバランスよく修得し、社会を支える幅広い産業分野で活躍する人材の育成を目指します。	出身学校における学業成績及び出身学校による推薦によって人物及び学力の優れた者に出願資格を与え、出願書類と大学入学共通テストにより幅広い基礎学力を測り、求める能力・適性を判定します。	<ul style="list-style-type: none"> 数学、物理や英語などの基礎学力 論理的思考力、ならびに修学に必要な基礎知識 自然現象に対する好奇心と洞察力 チャレンジ精神と行動力
	情報工学課程	製造・サービスなどのさまざまな産業の根幹を支えるICT 分野でリーダーシップをとって活躍する人材、および、ICTを活用した先進的なシステムの開発やサービスの創出・提供によって持続可能かつ豊かな情報社会の構築に貢献する人材を育成します。	出身学校における学業成績及び出身学校による推薦によって人物及び学力の優れた者に出願資格を与え、出願書類と大学入学共通テストにより幅広い基礎学力を測り、求める能力・適性を判定します。	<ul style="list-style-type: none"> 数学、物理や英語などの基礎学力 論理的な思考力や表現力 好奇心、チャレンジ精神と行動力

(次のページに続く)

学域	課程	人材育成の目標	選抜の方針・ポリシー	求める能力・適性
設計工学域	機械工学課程	単に機械工学に係る個々の専門知識を習得するだけでなく、それらを統合させる能力や、科学技術の発展の方向や時代と社会の変化の動向を把握し、まだ想像されていない新しい製品やシステムを思い描き、それを具現化する行動力、さらには、自身の国籍に拘ることなく、多様性の受容と柔軟なコミュニケーションを通じた世界変化への洞察力を身に着けた機械工学に係る新価値を創造する高度専門技術者や研究者を体系化された教育プログラムを通じて育成することを目指します。	出身学校における学業成績及び出身学校による推薦によって人物及び学力の優れた者に出願資格を与え、出願書類と大学入学共通テストにより幅広い基礎学力を測り、求める能力・適性を判定します。	<ul style="list-style-type: none"> ・数学、物理や英語などの基礎学力 ・ものづくりが好きで、創意工夫して忍耐強く問題に取り組む力 ・自然に対する興味や好奇心、注意深い観察力 ・論理的思考力、創造力、チャレンジ精神と行動力
デザイン科学域	デザイン・建築学課程	歴史と先端、地域性と国際性、芸術と科学が同居する京都という地において、デザイン学と建築学を広い概念としての「デザイン」として一つの視野の下にとらえ、自然・都市・建築環境、ものづくり、社会・経済構造、人間・社会関係といった多様な社会問題に対し、デザインによる解決ができる人材の育成を目指します。	出身学校における学業成績及び出身学校による推薦によって人物及び学力の優れた者に出願資格を与え、出願書類と大学入学共通テストにより幅広い基礎学力を測り、求める能力・適性を判定します。	<ul style="list-style-type: none"> ・緻密な論理的思考力と社会に対する洞察力、それを支えるバランスのとれた学力 ・美や造形に対する関心と感受性 ・人間や社会およびビジネスに対する関心と理解力 ・コミュニケーション能力と協調性 ・新しい可能性に向けての創造力と表現への熱意

4. 私費外国人留学生入試

学域	課程	人材育成の目標	選抜の方針・ポリシー	求める能力・適性
応用生物学域	応用生物学課程	バイオテクノロジーに関する高度な知識、技術、展開能力を有し、諸課題を解決し社会に還元することで、安全で幸福な持続的社会的の実現に貢献するグローバルな技術者・研究者を育成します。	日本留学試験の成績及びTOEFLにより語学力と基礎学力を測り、本学の試験において小論文及び面接試験により求める能力・適性を判定します。	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な学習能力、柔軟な発想、論理的な思考能力 自然科学を学ぶための生物、化学、数学、英語などの基礎学力 生命と自然に対する深い興味、探究心と観察力
物質・材料科学域	応用化学課程	物質・材料の成り立ちから応用までを俯瞰でき、基礎から応用までの幅広い知識(総合力)と高い専門性の素養を身につけた、次世代の物質や材料の開発と探求ができる人材を育成します。	日本留学試験の成績及びTOEFLにより語学力と基礎学力を測り、本学の試験において小論文及び面接試験により求める能力・適性を判定します。	<ul style="list-style-type: none"> 創造的、論理的思考能力、柔軟で独創的な発想、チャレンジ精神と行動力 自然科学を学ぶための化学、物理、数学、英語などの基礎学力とその応用・発展能力 実験科学に対する深い興味と人文科学、社会科学への幅広い関心 課題に向かって情熱的に取り組む意欲、化学に対する旺盛な好奇心 物質や材料、生体関連物質に対する好奇心、学習意欲
設計工学域	電子システム工学課程	電子、通信、電気、計測、制御工学分野に関する知識と技術について、理論と実践の両面からバランスよく修得し、社会を支える幅広い産業分野で活躍する人材の育成を目指します。	日本留学試験の成績及びTOEFLにより語学力と基礎学力を測り、本学の試験において小論文及び面接試験により求める能力・適性を判定します。	<ul style="list-style-type: none"> 数学、物理や英語の基礎学力、修学に必要な日本語能力 論理的思考力、ならびに修学に必要な基礎知識 自然現象に対する好奇心と洞察力 チャレンジ精神と行動力
	情報工学課程	製造・サービスなどのさまざまな産業の根幹を支えるICT分野でリーダーシップをとって活躍する人材、および、ICTを活用した先進的なシステムの開発やサービスの創出・提供によって持続可能かつ豊かな情報社会の構築に貢献する人材を育成します。	日本留学試験の成績及びTOEFLにより語学力と基礎学力を測り、本学の試験において小論文及び面接試験により求める能力・適性を判定します。	<ul style="list-style-type: none"> 数学、物理や英語の基礎学力、修学に必要な日本語能力 意欲的に課題に取り組める論理的な思考力や表現力 好奇心、チャレンジ精神と行動力、コミュニケーション能力と協調性
	機械工学課程	単に機械工学に係る個々の専門知識を習得するだけでなく、それらを統合させる能力や、科学技術の発展の方向や時代と社会の変化の動向を把握し、まだ想像されていない新しい製品やシステムを思い描き、それを具現化する行動力、さらには、自身の国籍に拘ることなく、多様性の受容と柔軟なコミュニケーションを通じた世界変化への洞察力を身につけた機械工学に係る新価値を創造する高度専門技術者や研究者を体系化された教育プログラムを通じて育成することを目指します。	日本留学試験の成績及びTOEFLにより語学力と基礎学力を測り、本学の試験において小論文及び面接試験により求める能力・適性を判定します。	<ul style="list-style-type: none"> 数学や物理や英語の基礎学力、修学に必要な日本語能力 ものづくりが好きで、創意工夫して忍耐強く問題に取り組む力 自然に対する興味や好奇心、注意深い観察力 論理的思考力、創造力、チャレンジ精神と行動力

(次のページに続く)

学域	課程	人材育成の目標	選抜の方針・ポリシー	求める能力・適性
デザイン科学域	デザイン・建築学課程	<p>歴史と先端、地域性と国際性、芸術と科学が同居する京都という地において、デザイン学と建築学を広い概念としての「デザイン」として一つの視野の下にとらえ、自然・都市・建築環境、ものづくり、社会・経済構造、人間・社会関係といった多様な社会問題に対し、デザインによる解決ができる人材の育成を目指します。</p>	<p>日本留学試験の成績及びTOEFLにより語学力と基礎学力を測り、本学の試験において小論文及び面接試験により求める能力・適性を判定します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・緻密な論理的思考力と社会に対する洞察力、それを支えるバランスのとれた学力 ・美や造形に対する関心と感受性 ・人間や社会およびビジネスに対する関心と理解力 ・コミュニケーション能力と協調性 ・新しい可能性に向けての創造力と表現への熱意

V. 募集人員

令和6年度（令和5年度実施）までの募集人員

課程	合計	一般プログラム							地域創生Tech Program					
		小計	一般選抜		ダビンチ入試 (総合型選抜)		学校推薦 型選抜	特別 入試	小計	一般 選抜	ダビンチ入試 (総合型選抜)			学校 推薦型 選抜
			前期 日程	後期 日程	一般	グロー バル	一般	私費 外国人 留学生			前期 日程	一般	地域	
応用生物学課程	50	48	22	10	5	1	10	若干名	2	若干名	1	若干名	1	
応用化学課程	169	166	95	24	6	3	38	若干名	3	若干名	2	若干名	1	
電子システム工学課程	61	58	34	10	3	1	10	若干名	3	若干名	2	若干名	1	
情報工学課程	61	58	30	15	5	1	7	若干名	3	若干名	2	若干名	1	
機械工学課程	86	83	48	15	4	1	15	若干名	3	若干名	2	若干名	1	
デザイン・建築学課程	156	148	105	—	30	3	10	若干名	8	若干名	4	2	若干名	2
合計	583	561	334	74	53	10	90	—	22	—	合わせて15			7



令和7年度（令和6年度実施）募集人員

※令和6年度からの変更箇所は**太字下線**で示しています。

課程	合計	一般プログラム							地域創生Tech Program					
		小計	一般選抜		ダビンチ入試 (総合型選抜)		学校推薦 型選抜	特別 入試	小計	一般 選抜	ダビンチ入試 (総合型選抜)			学校 推薦型 選抜
			前期 日程	後期 日程	一般	グロー バル	一般	私費 外国人 留学生			前期 日程	一般	地域	
応用生物学課程	50	48	30	—	7	1	10	若干名	2	若干名	1	若干名	1	
応用化学課程	169	166	115	—	6	3	42	若干名	3	若干名	2	若干名	1	
電子システム工学課程	61	58	34	—	5	1	18	若干名	3	若干名	2	若干名	1	
情報工学課程	61	58	38	—	5	1	14	若干名	3	若干名	2	若干名	1	
機械工学課程	86	83	58	—	4	1	20	若干名	3	若干名	2	若干名	1	
デザイン・建築学課程	156	148	105	—	30	3	10	若干名	8	若干名	4	2	若干名	2
合計	583	561	380	—	57	10	114	—	22	—	合わせて15			7

注1. 一般選抜前期日程では、第1志望で地域創生Tech Programを選択した志願者は、同一課程に限り、第2志望に一般プログラムを選択することが可能です。

注2. 募集人員の取り扱いは次のとおりとします。

- ①一般プログラムのダビンチ入試（総合型選抜）と学校推薦型選抜の入学手続き数が募集人員に満たない場合は、その欠員を一般プログラムの一般選抜前期日程に加えます。
- ②私費外国人留学生の募集人員（若干名）は、各課程の募集人員には含まれません。
- ③地域創生Tech Programのダビンチ入試（総合型選抜）では、デザイン・建築学課程を除き、一般と地域合わせて募集します。また、社会人の募集人員（若干名）は、地域創生Tech Programの各課程の募集人員に含まれます。
- ④地域創生Tech Programのダビンチ入試（総合型選抜）のデザイン・建築学課程で募集する一般（又は地域）の合格者数が募集人員に満たない場合は、その欠員を地域（又は一般）に加えます。
- ⑤地域創生Tech Programのダビンチ入試（総合型選抜）の入学手続き数が募集人員に満たない場合、その欠員は地域創生Tech Programの学校推薦型選抜に含めます。
さらに、地域創生Tech Programの学校推薦型選抜の入学手続き数が募集人員に満たない場合、その欠員は地域創生Tech Programの一般選抜前期日程の募集人員（若干名）に含めます。
- ⑥地域創生Tech Programの入学手続き数（一般選抜（前期日程）においては合格者数）が募集人員に満たない場合は、その欠員を一般プログラムの一般選抜前期日程に加えます。

注3. ダビンチ入試（総合型選抜）で不合格となった人は、本学を含む国公立大学・学部の学校推薦型選抜及び一般選抜に出願できます。

注4. 学校推薦型選抜の合格発表前に、本学を含む国公立大学・学部の一般選抜に出願できますが、学校推薦型選抜に合格した場合には、一般選抜を受験しても合格対象者になりません。

VI. 地域創生 Tech Program について

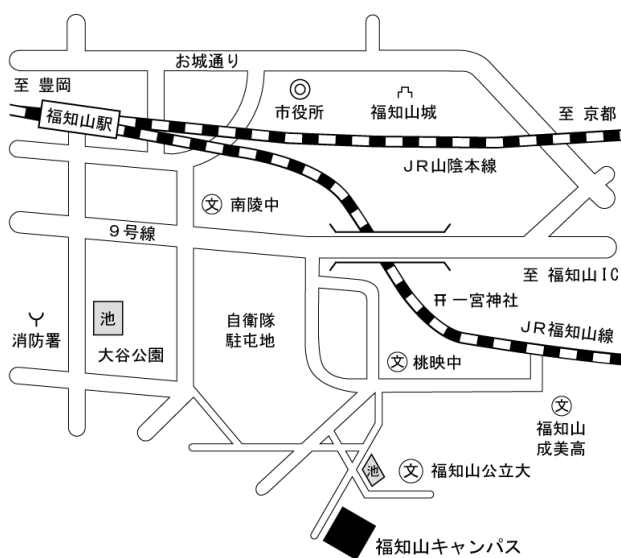
地域創生 Tech Program は、地域産業の活性化や地域課題の解決に向けて、各課程の専門知識及び技術をベースに、グローバルな視野で協働することができる人材を育成することを目的として開設された学位プログラムです。

本プログラムの学生は、一般プログラムの学生と同様に各課程のいずれかに所属し、1年次から3年次前学期までは京都市の松ヶ崎キャンパスで開講される授業科目を履修して専門知識及び技術を身に付けます。

3年次後学期には京都府北部の福知山キャンパスを中心として、地域課題解決型学習（PBL, Project Based Learning）やインターンシップといった実践的・能動的な学習に取り組みます。

本プログラムの卒業生は、各課程の専門力に加え、新産業を興すアントレプレナー精神、特許等の知的財産に関する知識及びチームで協働して課題解決に取り組めるリーダーシップ精神を有する人材として活躍することが期待されます。

なお、福知山キャンパスの地図は以下のとおりです。福知山キャンパスと松ヶ崎キャンパスの距離は約100kmで、両キャンパスの移動は鉄道（特急利用）で片道約2時間を要します。



※入学試験の試験場は、京都市の松ヶ崎キャンパスです。福知山キャンパスでは入学試験を実施しませんので、注意してください。

※単位の修得状況によっては、福知山キャンパスで学ぶ時期が3年次後学期より後になる場合があります。

※地域創生 Tech Program 以外の一般プログラムの学生は、入学から卒業まで松ヶ崎キャンパスで学びます。

※入学後は地域創生 Tech Program から同一課程の一般プログラムに3年次編入学することはできません。

Ⅶ. 出願資格

1. 一般選抜（前期日程）＜一般プログラム、地域創生 Tech Program＞

次の（1）から（10）のいずれかに該当し、令和7年度大学入学共通テストのうち、本学が指定した教科・科目を受験した人に限られます。

なお、入学願書が受理されていても、本学が指定した教科・科目を受験していない人は、出願無資格者となり、受験することができません。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した人及び令和7年3月31日までに卒業見込みの人
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した人及び令和7年3月31日までに修了見込みの人
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した人及び令和7年3月31日までに修了見込みの人又はこれらに準ずる人で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した人及び令和7年3月31日までに修了見込みの人
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した人及び令和7年3月31日までに修了見込みの人
- (6) 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEA レベルの資格を有した人及び令和7年3月31日までに資格を有する見込みの人
- (7) 国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI、コグニア）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した人及び令和7年3月31日までに修了見込みの人
- (8) 文部科学大臣の指定した人（昭和23年文部省告示第47号第1号～第19号）
- (9) 高等学校卒業程度認定試験に合格した人（大学入学資格検定に合格した人を含む。）及び令和7年3月31日までに合格見込みの人
- (10) 本学において、下記の「個別の入学資格審査」により高等学校を卒業した人と同等以上の学力があると認めた人で、平成19年4月1日までに生まれた人

出願資格(10)に係る個別の入学資格審査の申請について

（出願資格(10)以外で出願する人は不要です。）

1. 個別の入学資格審査の申請を行うことができる人

学校教育法施行規則第150条第7号の個別の入学資格審査を受けようとする人で、本学に入学する意思があり、入学年度の前年度末までに18歳に達している人。

2. 提出書類

- (1) 入学資格審査申請書
- (2) 経歴書
- (3) 出身学校等の卒業（見込）証明書
- (4) 出身学校等における学習歴を証明する書類
- (5) 出身学校等の学則
- (6) 出身学校等の教育課程表
- (7) 社会での実務経験や取得した資格等を証明する書類
- (8) 返信用封筒（長形3号の封筒に、760円分の切手を貼り、申請者のあて先・氏名を明記すること）

3. 審査体制

本学において、提出書類に基づき適正に審査を行う。審査にあたっては、専修学校や各種学校等における学習歴や、大学の科目履修生としての単位取得などの個人の学習歴、あるいは、社会における実務経験や取得した資格等に基づき総合的に判断する。

4. 提出方法

持参又は書留速達郵便により、封筒に「入学資格審査書類在中」と朱書き郵送すること。

5. 入学資格審査申請期間

令和6年9月2日（月）から令和6年12月27日（金）（17時必着）

6. 審査結果

審査後、速やかに本人宛郵便により通知します。

7. 本件に関する問合せ先及び書類提出先

巻末問合せ先参照

2. ダビンチ入試（総合型選抜）

① 一般プログラム【一般】、【グローバル】及び地域創生 Tech Program【一般】

次の(1)から(10)のいずれかに該当する人です。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した人及び令和7年3月31日までに卒業見込みの人
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した人及び令和7年3月31日までに修了見込みの人
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した人及び令和7年3月31日までに修了見込みの人又はこれらに準ずる人で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した人及び令和7年3月31日までに修了見込みの人
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した人及び令和7年3月31日までに修了見込みの人
- (6) 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEA レベルの資格を有した人及び令和7年3月31日までに資格を有する見込みの人
- (7) 国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI、コグニア）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した人及び令和7年3月31日までに修了見込みの人
- (8) 文部科学大臣の指定した人（昭和23年文部省告示第47号第1号～第19号）
- (9) 高等学校卒業程度認定試験に合格した人（大学入学資格検定に合格した人を含む。）及び令和7年3月31日までに合格見込みの人
- (10) 本学において、下記の「個別の入学資格審査」により高等学校を卒業した人と同等以上の学力があると認めた人で、平成19年4月1日までに生まれた人

出願資格(10)に係る個別の入学資格審査の申請について

（出願資格(10)以外で出願する人は不要です。）

1. 個別の入学資格審査の申請を行うことができる人

学校教育法施行規則第150条第7号の個別の入学資格審査を受けようとする人で、本学に入学する意思があり、入学年度の前年度末までに18歳に達している人。

2. 提出書類

- (1) 入学資格審査申請書
- (2) 経歴書
- (3) 出身学校等の卒業（見込）証明書
- (4) 出身学校等における学習歴を証明する書類
- (5) 出身学校等の学則
- (6) 出身学校等の教育課程表
- (7) 社会での実務経験や取得した資格等を証明する書類
- (8) 返信用封筒（長形3号の封筒に、694円分の切手を貼り、申請者のあて先・氏名を明記すること）

3. 審査体制

本学において、提出書類に基づき適正に審査を行う。審査にあたっては、専修学校や各種学校等における学習歴や、大学の科目履修生としての単位取得などの個人の学習歴、あるいは、社会における実務経験や取得した資格等に基づき総合的に判断する。

4. 提出方法

持参又は書留速達郵便により、封筒に「入学資格審査書類在中」と朱書き郵送すること。

5. 入学資格審査申請期間

令和6年6月28日（金）から令和6年8月2日（金）（17時必着）

6. 審査結果

令和6年9月2日（月）までに本人宛郵便により通知します。

7. 本件に関する問合せ先及び書類提出先

巻末問合せ先参照

② 地域創生 Tech Program【地域】

次の(1)又は(2)に該当する人です。

- (1) 出願時に、京都府福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、伊根町又は与謝野町の区域に所在地を置く高等学校を令和7年3月31日までに卒業見込みの人
- (2) 京都府福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、伊根町又は与謝野町の区域に所在地を置いていた高等学校を卒業した人

③ 地域創生 Tech Program【社会人】

次の(1)から(6)のいずれかに該当する人のうち、平成14年4月1日までに生まれた人又は令和7年3月31日時点で職務経歴2年以上を有する平成16年4月1日までに生まれた人。ただし、職業訓練期間は、職務経歴の期間に含みません。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した人及び令和7年3月31日までに卒業見込みの人
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した人及び令和7年3月31日までに修了見込みの人
- (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した人及び令和7年3月31日までに修了見込みの人
- (4) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した人及び令和7年3月31日までに修了見込みの人
- (5) 文部科学大臣の指定した人（昭和23年文部省告示第47号第1号～第19号）
- (6) 高等学校卒業程度認定試験に合格した人（大学入学資格検定に合格した人を含む。）及び令和7年3月31日までに合格見込みの人

3-1. 学校推薦型選抜<一般プログラム>

次の(1)から(4)すべてに該当する人です。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した人及び令和7年3月31日までに卒業見込みの人
 - (2) 学校長が、学校推薦型選抜<一般プログラム>のアドミッションポリシーに合致し、人物及び学業に優れているとして推薦できる人
 - (3) 合格した場合は、必ず入学することを確約できる人
 - (4) 令和7年度大学入学共通テストにおいて本学が指定する教科・科目を受験する人
- ※出願にあたっての注意事項は、3ページを参照してください。

3-2. 学校推薦型選抜<地域創生 Tech Program>

次の(1)から(4)すべてに該当する人です。

- (1) 出願時に、京都府下に所在地を置く高等学校若しくは中等教育学校を令和7年3月31日までに卒業見込みの人、又は京都府内に在住し、令和7年3月31日までに高等学校若しくは中等教育学校を卒業見込みの人
 - (2) 学校長が、学校推薦型選抜<地域創生 Tech Program>のアドミッションポリシーに合致し、人物及び学業に優れているとして推薦できる人
 - (3) 合格した場合は、必ず入学することを確約できる人
 - (4) 令和7年度大学入学共通テストにおいて本学が指定する教科・科目を受験する人
- ※出願にあたっての注意事項は、3ページを参照してください。

Ⅷ. 障害等のある人との事前相談について

本学に出願しようとする人で、障害等があり、受験上及び修学上配慮を必要とする人は、あらかじめ相談が必要です。相談の時期、方法等については募集要項に明記しますので注意してください。なお、相談の内容によっては、本学の試験までに対応できず、配慮を希望される措置が講じられない場合がありますので、可能な限り早めに、巻末「問合せ先」に相談してください。

<受験上の配慮の実績>

別室受験、試験時間の延長（1.3倍程度）、試験問題及び解答用紙の拡大（1.4倍程度）、タブレット端末による試験問題の閲覧、文書による注意事項の伝達、什器の持ち込み、補聴器の使用、拡大鏡等の使用、卓上時計の使用、試験室の希望する場所に座席を配置、試験室をトイレの近くに設定、試験中の補食、試験中の服薬、試験中の水分補給、試験室までの付添者の同伴及び構内での待機、試験場への乗用車での送迎、帽子の着用等

Ⅸ. 入学者選抜の実施教科・科目等について

学域、課程名及び入学定員等	学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの 利用教科・科目名		個別学力検査等					大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等					特別の選 抜方法等											
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	歴史 公民	数学	理科	外国語	情報	配点 合計												
															試験の区分	国語	歴史 公民	数学	理科	外国語	情報	配点 合計			
工学 電子システム工学課程 61人 《一般プログラム》 前期日程 34人 タビチチ入試【 般】5人 タビチチ入試【グローバル】1人 学校推薦型選抜 18人 私費外国人留学生入試 若干名 《地域創生 Tech Program》 前期日程 若干名 タビチチ入試【一般】、【地域】合わせて2人 タビチチ入試【社会人】 若干名 学校推薦型選抜 1人	一般選抜(前期日程) 2月25-26日 一般選抜(後期日程)	国語 「地総、地探」、「歴史、日探」、「歴史、世探」、「公、倫、公、政、経」、「地総/歴史/公」 「教I教A」、「教II、教B、教C」 物理と「化学、生物、地学から」 英、独、仏、中、韓から 情報 I	国語 「地総、地探」、「歴史、日探」、「歴史、世探」、「公、倫、公、政、経」、「地総/歴史/公」 「教I教A」、「教II、教B、教C」 物理と「化学、生物、地学から」 英、独、仏、中、韓から 情報 I	数 理 外 情報	科目名等 教I、教II、教III、教A、教B、教C 物理基礎、物理 英語コミュニケーションII、英語コミュニケーションIII、 論理・表現I、論理・表現II、論理・表現III	共通テスト 個別学力検査等 計	100 100 50 100 100 200 200 300 300	50 50 100 100 200 200 300 300	100 100 200 200 300 300	25 25 100 100 200 200 300 300	475 475 700 700	外国人 外国人 追加合格 欠員補充													
													後期日程での学生募集を停止します	後期日程での学生募集を停止します	後期日程での学生募集を停止します	後期日程での学生募集を停止します									
													大学入学共通テストは課さない 学校推薦型選抜 <一般プログラム> 学校推薦型選抜 <地域創生 Tech Program>	大学入学共通テストは課さない 学校推薦型選抜 <一般プログラム> 学校推薦型選抜 <地域創生 Tech Program>	国語 「地総、地探」、「歴史、日探」、「歴史、世探」、「公、倫、公、政、経」、「地総/歴史/公」 「教I教A」、「教II、教B、教C」 物理と「化学、生物、地学から」 英、独、仏、中、韓から 情報 I	国語 「地総、地探」、「歴史、日探」、「歴史、世探」、「公、倫、公、政、経」、「地総/歴史/公」 「教I教A」、「教II、教B、教C」 物理と「化学、生物、地学から」 英、独、仏、中、韓から 情報 I	数 理 外 情報	科目名等 教I、教II、教III、教A、教B、教C 物理基礎、物理 英語コミュニケーションII、英語コミュニケーションIII、 論理・表現I、論理・表現II、論理・表現III	第1次選考 最終選考 計	100 100 50 100 100 250 200 200 300 300	50 50 100 100 200 200 300 300	100 100 200 200 300 300	50 50 100 100 200 200 300 300	850 850 900 900	外国人 外国人 追加合格 欠員補充
													情報工学課程 61人 《一般プログラム》 前期日程 38人 タビチチ入試【 般】5人 タビチチ入試【グローバル】1人 学校推薦型選抜 14人 私費外国人留学生入試 若干名 《地域創生 Tech Program》 前期日程 若干名 タビチチ入試【一般】、【地域】合わせて2人 タビチチ入試【社会人】 若干名 学校推薦型選抜【地域】1人	一般選抜(前期日程) 2月25-26日 一般選抜(後期日程)	国語 「地総、地探」、「歴史、日探」、「歴史、世探」、「公、倫、公、政、経」、「地総/歴史/公」 「教I教A」、「教II、教B、教C」 物理と「化学、生物、地学から」 英、独、仏、中、韓から 情報 I	国語 「地総、地探」、「歴史、日探」、「歴史、世探」、「公、倫、公、政、経」、「地総/歴史/公」 「教I教A」、「教II、教B、教C」 物理と「化学、生物、地学から」 英、独、仏、中、韓から 情報 I	数 理 外 情報	科目名等 教I、教II、教III、教A、教B、教C 物理基礎、物理 英語コミュニケーションII、英語コミュニケーションIII、 論理・表現I、論理・表現II、論理・表現III	第1次選考 最終選考 計	100 100 50 100 100 200 200 300 300	50 50 100 100 200 200 300 300	100 100 200 200 300 300	25 25 100 100 200 200 300 300	475 475 700 700	外国人 外国人 追加合格 欠員補充
後期日程での学生募集を停止します 学校推薦型選抜 <一般プログラム> 学校推薦型選抜 <地域創生 Tech Program>	後期日程での学生募集を停止します 学校推薦型選抜 <一般プログラム> 学校推薦型選抜 <地域創生 Tech Program>	国語 「地総、地探」、「歴史、日探」、「歴史、世探」、「公、倫、公、政、経」、「地総/歴史/公」 「教I教A」、「教II、教B、教C」 物理と「化学、生物、地学から」 英、独、仏、中、韓から 情報 I	国語 「地総、地探」、「歴史、日探」、「歴史、世探」、「公、倫、公、政、経」、「地総/歴史/公」 「教I教A」、「教II、教B、教C」 物理と「化学、生物、地学から」 英、独、仏、中、韓から 情報 I	数 理 外 情報	科目名等 教I、教II、教III、教A、教B、教C 物理基礎、物理 英語コミュニケーションII、英語コミュニケーションIII、 論理・表現I、論理・表現II、論理・表現III	第1次選考 最終選考 計	200 200 100 200 200 300 300	100 100 200 200 300 300	100 100 200 200 300 300	100 100 200 200 300 300	1000 1000 850 850	外国人 外国人 追加合格 欠員補充													

注：P.30の「入学希望者の実施教科・科目等に関する注意事項について」を参照ください。

入学者選抜の実施教科・科目等に係る注意事項について

【大学入学共通テストについて】

1. 英語を選択した場合には、全ての課程でリーディングテストとリスニングテストを課します。リーディングの得点を160点満点、リスニングの得点を40点満点にそれぞれ換算の上合計し、一般選抜及び学校推薦型選抜それぞれの各課程の配点に換算します。なお、リスニングテストを受験しなかった場合でも失格にはなりません、その場合、リスニングテストの点数を0点とします。また、リスニング免除者については、リーディングの得点を200点満点に換算の上、一般選抜及び学校推薦型選抜それぞれの各課程の配点に換算します。
2. 出願資格及び合否判定に段階表示を活用しません。
3. 各科目名は、次のとおり略して表記しています。
「地理総合，地理探究」→「地総，地探」 「歴史総合，日本史探究」→「歴総，日探」
「歴史総合，世界史探究」→「歴総，世探」 「公共，倫理」→「公，倫」
「公共，政治・経済」→「公，政・経」 「地理総合／歴史総合／公共」→「地総／歴総／公」
「旧世界史A」→「旧世A」 「旧世界史B」→「旧世B」 「旧日本史A」→「旧日A」
「旧日本史B」→「旧日B」 「旧地理A」→「旧地A」 「旧地理B」→「旧地B」
「旧現代社会」→「旧現社」 「旧倫理」→「旧倫」 「旧政治・経済」→「旧政・経」
「旧倫理，旧政治・経済」→「旧倫，旧政・経」
「数学Ⅰ，数学A」→「数Ⅰ，数A」 「数学Ⅱ，数学B，数学C」→「数Ⅱ，数B，数C」
「旧数学Ⅰ，数学A」→「旧数Ⅰ，旧数A」 「旧数学Ⅱ，数学B」→「旧数Ⅱ，旧数B」
英語→英 ドイツ語→独 フランス語→仏 中国語→中 韓国語→韓
4. 大学入学共通テストの「地理歴史・公民」から1科目選択の場合及び「理科」で1科目選択の場合において、各課程が必要とする教科・科目を超えて受験した場合は、各課程が指定した教科・科目のうち第1解答科目の得点を採用します。

【英語民間試験について】

出願資格及び合否判定に英語民間試験を活用しません。

【個別学力検査等について】

1. 科目名は新教育課程における科目名を表しています。数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲは全範囲から出題します。数学Aは「図形の性質」、「場合の数と確率」、数学Bは「数列」、数学Cは「ベクトル」、「平面上の曲線と複素数平面」を出題範囲とします。
ただし、令和7年度入学試験においては、新教育課程と旧教育課程の共通の内容を出題するなど、旧教育課程履修者に不利にならないように配慮した出題を行います。
2. デザイン・建築学課程の「総合問題」は、複数の教科を総合して学力を判定する総合的な問題です。提示されたデザイン・建築・ビジネス・テクノロジーに関する課題に対して、創造力、構成力、描画力及びそれらの総合力、並びに自分の考えをまとめる能力を評価します。

【特別の選抜方法等について】

1. 「追加合格」は、入学事務者が募集人員に満たない場合には、追加合格により欠員を補充することを表します。
2. 「欠員補充」は、追加合格により欠員を補充しても、なお入学事務者が募集人員に満たない場合には、欠員補充第2次募集を実施することを表します。
3. 「外国人」は私費外国人留学生入試を一般選抜以外に実施することを表します。

試験場(京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス)への案内

■京都駅からお越しの場合

京都市営地下鉄烏丸線からすまに乗換え、「京都」駅から「国際会館」行きに乗車

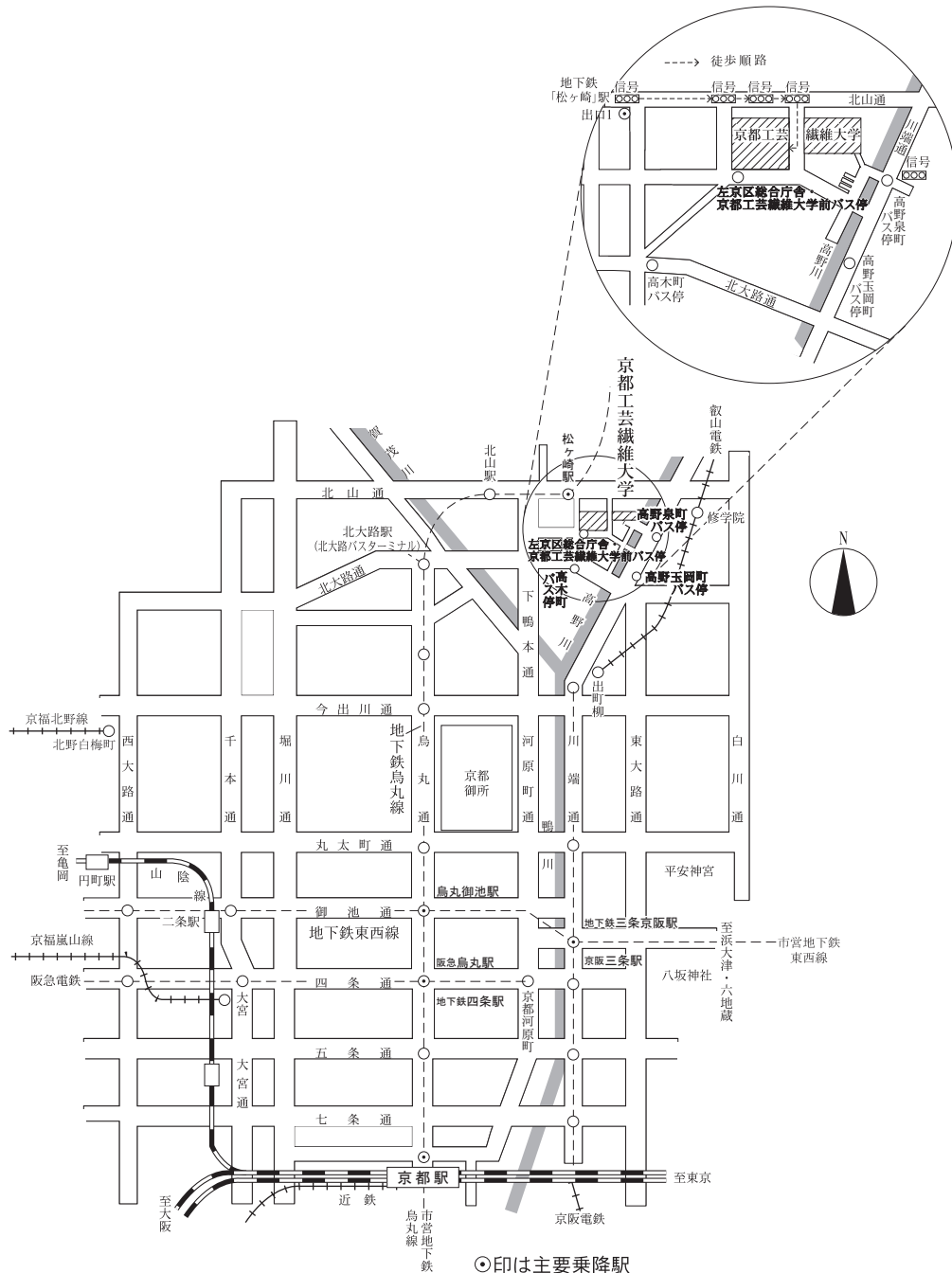
■阪急「烏丸」駅からお越しの場合

京都市営地下鉄烏丸線に乗換え、「四条」駅から「国際会館」行きに乗車

■京阪「三条」駅からお越しの場合

市営地下鉄東西線に乗換え、「三条京阪」駅から「太秦天神川」行きうずまさ てんじんがわに乗車、「烏丸御池」駅からすま おいけで市営地下鉄烏丸線「国際会館」行きに乗換え

「松ヶ崎」駅下車、「松ヶ崎」駅から徒歩8分、「(松ヶ崎)駅「出口1」から右(東)へ、4つ目の信号を右(南)へ180m



発行年月 令和6年7月

発行元・問合せ先

京都工芸繊維大学 入試課学部入試係

〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地

TEL: 075-724-7164 FAX: 075-724-7160

e-mail: nyushi@kit.ac.jp URL: <https://www.kit.ac.jp>